

理科カリキュラムを考える会 第5回全国大会

大会テーマ：「新しい理科教育の展望を考える」

「ゆとり教育」から「確かな学力」とは？ 学力論争の先に見えるもの

2003年12月27日（土）～28日（日）

（27日は午後1時から、28日は午前9時から）

主催 NPO法人理科カリキュラムを考える会 共催 東京理科大学大学院理学研究科理数教育専攻 後援（交渉中）

全国大会について

- 理科教育に携わる方に広く理科カリキュラムを考える場をつくります。
- 急速に変化している理科教育の環境について、教育行政、教育社会学、数学教育、教師教育の立場の方から、講演をいただきます。
- 各地で活動している新しいカリキュラムを考える研究者・研究グループに、研究内容や活動状況を発表していただきます。また、参加した皆さんの活動が連携を取れるような仕組み作りを考えています。
- この大会を積み重ね、2006年にはこの活動の区切りとなるような、報告のとりまとめを行いたいと考えています。

講演（12/27）

藤田英典氏（国際基督教大学）

元東京大学教授・教育改革国民会議委員

「知識社会における学力形成と教科教育の課題」

— 「ゆとり教育」政策と「学力重視」政策の矛盾のなかで—

プログラム（予定）

◆◆1日目（12/27 午後1時～6時）◆◆

●講演（3名）

文部科学省（交渉中）

藤田英典氏（国際基督教大学）「知識社会における学力形成と教科教育の課題」-- 「ゆとり教育」政策と「学力重視」政策の矛盾のなかで --

澤田利夫氏（東京理科大学）「近未来のカリキュラム（私案）」-- 授業時数と数学科カリキュラム --

●パネルディスカッション（講演者+滝川洋二氏）

◆◆2日目（12/28 午前9時～午後5時）◆◆

●カリキュラム開発グループからの報告・討論

●講演

伊藤稔氏（東京理科大学）「教師教育について --- 学校教育の推進力は『教師の学び』（仮題）」

●分科会 科学的リテラシーの構成、授業時間時間数について、新しい単元と整理する単元、高校理科の履修選択の偏りとリテラシーなどを予定

●全体討議

先着200名まで

会費 <参加会費は当日受け付けます>

一般 3000円 / 当法人正会員 2000円 / 学生 1000円

参加申し込み方法

メール（又はファックス）でお申し込み下さい

Mail: rika_zimu@yahoo.co.jp

(Fax: 047-484-3713 大木)

氏名

所属

E-Mail

住所 〒

電話番号

会場 東京理科大学神楽坂校舎

東京都 飯田橋駅下車

（JR総武線、地下鉄有楽町線・東西線・南北線・大江戸線）

（1日目）森戸記念館 電話 03-5225-1033

JR飯田橋から神楽坂上がり毘沙門天向かいの「鳥茶屋」角に入る。

（2日目）1号館

